

## 調査結果の概要

### 《 要 約 》

- 1 農家数 ----- 2,356 戸で 14.4%の減少

2010年農林業センサス（以下、「前回調査」という）で2,753戸あった農家数は397戸減少した。販売農家は1,524戸で、471戸（△23.6%）減少した。

- 2 農家人口 ----- 6,176 人で 28.4%の減少

前回調査で8,630人であった農家人口は2,454人減少した。

- 3 経営耕地 ----- 3,389ha で 8.7%の減少

前回調査で3,710haであった経営耕地面積は321ha減少した。

- 4 施設園芸 ----- 1,438a で 19.8%の減少

前回調査で1,793aであった施設面積は355a減少した。

- 5 認定農業者 ----- 183 戸で 15.8%の増加

前回調査で158戸であった認定農業者のいる農家数は25戸増加した。

# 農 家 調 査

## 1 農 家 数

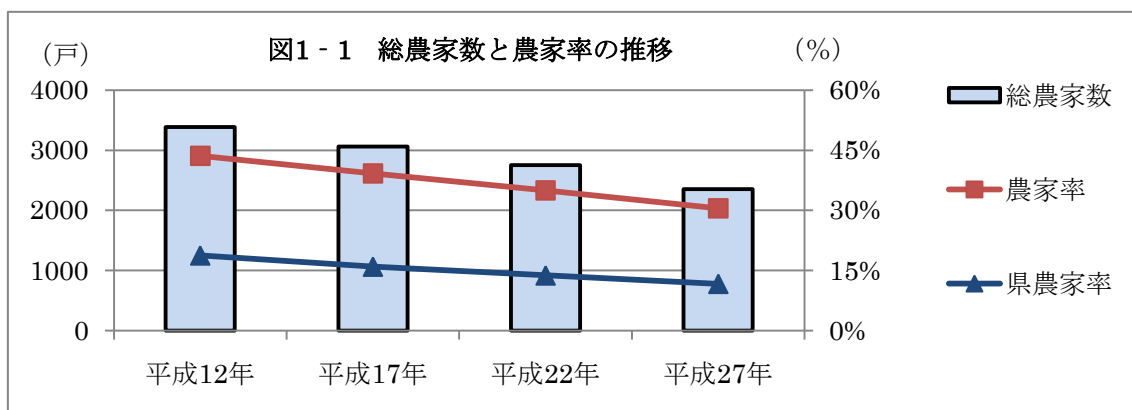
### 1-1 総農家数

平成 27 年 2 月 1 日現在の本市の総農家数は 2,356 戸で、平成 22 年 2 月 1 日に実施した 2010 年世界農林業センサス（以下、「前回」という）に比べ 397 戸（△14.4%）減少した。

農家率（総世帯数に占める総農家数の割合）は 30.5%で、前回より 4.5 ポイント低下したが、県農家率と比べると 18.8 ポイント高率となっている。

表1-1 総農家数と農家率の推移

年次	総農家数			販売農家			農家率	県農家率
	増減数	増減率	増減率	増減数	増減率			
平成 12 年	3,386	-	-	2,841	-	-	43.6%	18.0%
17 年	3,062	-324	-9.6%	2,405	-436	-15.3%	39.2%	16.0%
22 年	2,753	-309	-10.1%	1,995	-410	-17.0%	35.0%	13.8%
27 年	2,356	-397	-14.4%	1,524	-471	-23.6%	30.5%	11.7%



地域別にみると、最も農家数が多いのは戸沢で 498 戸となっている。次いで西郷（410 戸）、大久保（278 戸）となっている。

前回と比べて、最も減少率が大きいのは西郷（△17.8%）で、次いで富本（△16.7%）、楯岡（△15.7%）、袖崎（△15.7%）となっている。

表1-2 地域別農家数の推移

区分	地域別農家数 (単位: 戸)								
	村山市	楯岡	西郷	大倉	大久保	富本	戸沢	袖崎	大高根
平成27年	2,356	274	410	188	278	240	498	220	248
販売農家	1,524	150	303	113	185	146	323	163	141
平成22年	2,753	325	499	215	307	288	566	261	292
増減数	-397	-51	-89	-27	-29	-48	-68	-41	-44
増減率	-14.4%	-15.7%	-17.8%	-12.6%	-9.4%	-16.7%	-12.0%	-15.7%	-15.1%

## 1-2 経営耕地規模別農家数

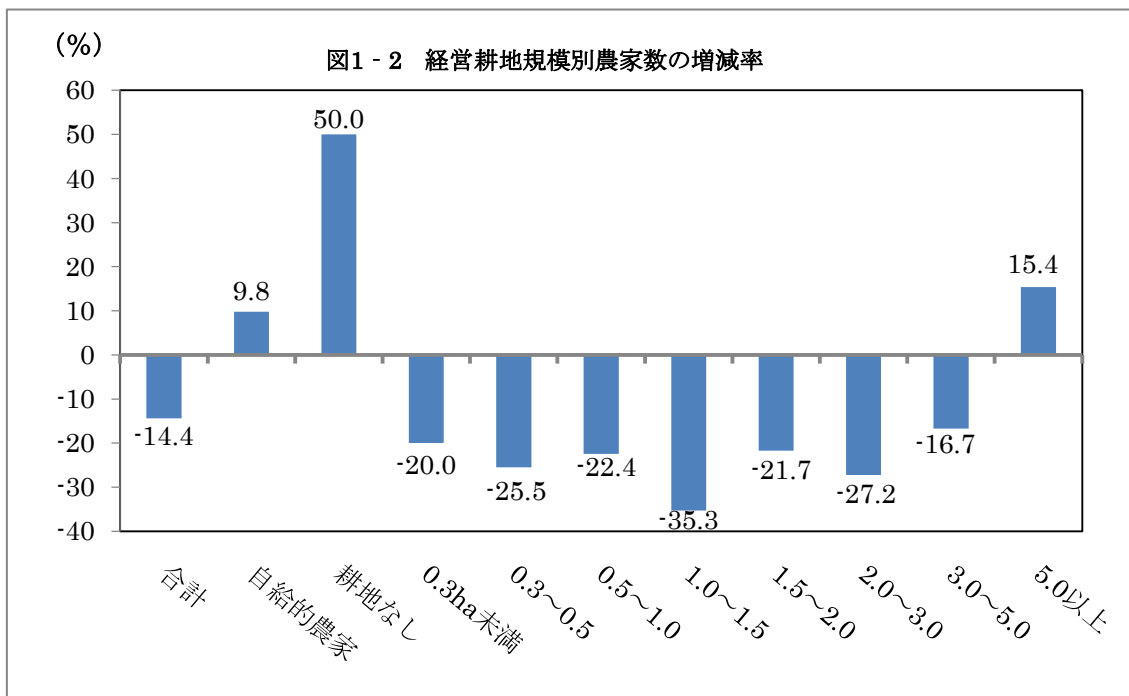
経営体の中では、0.5～1.0haの階層が471戸（構成比20.0%）で最も多く、1.0～1.5haが279戸（11.8%）、0.3～0.5haが202戸（8.6%）と続いている。

耕地なしと5.0ha以上を除く各階層が減少し、自給的農家が増加したことから、自給的農家の割合が全体で最も大きくなっている。

表1-3 経営耕地規模別農家数の推移

（単位：戸）

区分	実数		増減数	増減率	構成比		
	平成22年	平成27年			平成22年	平成27年	
合計	2,753	2,356	-397	-14.4%	100%	100%	
自給的農家	758	832	74	9.8%	27.5%	35.3%	
販売農家	合計	1,995	1,524	-471	-23.6%	72.5%	64.7%
	耕地なし	2	3	1	50.0%	0.1%	0.1%
	0.3ha未満	15	12	-3	-20.0%	0.5%	0.5%
	0.3～0.5	271	202	-69	-25.5%	9.8%	8.6%
	0.5～1.0	607	471	-136	-22.4%	22.0%	20.0%
	1.0～1.5	431	279	-152	-35.3%	15.7%	11.8%
	1.5～2.0	226	177	-49	-21.7%	8.2%	7.5%
	2.0～3.0	213	155	-58	-27.2%	7.7%	6.6%
	3.0～5.0	126	105	-21	-16.7%	4.6%	4.5%
5.0以上	104	120	16	15.4%	3.8%	5.1%	



### 1-3 主副業別農家数（販売農家）

販売農家について主副業別にみると、前回に比べて、主業農家は62戸（△16.9%）、準主業農家は138戸（△34.2%）減少した。副業的農家は271戸（△22.1%）減少した。

また、準主業農家の減少率（△34.2%）は販売農家全体の減少率（△23.6%）を10.6ポイント上回っている

表1-4 主副業別農家数（販売農家）

（単位：戸）

区分	合計	主業農家	65歳未満の 農業専従者 がいる	準主業 農家	65歳未満の 農業専従者 がいる	副業的 農家	
							実数
	平成27年	1,524	305	261	265	118	954
増減数		-471	-62	-55	-138	-20	-271
増減率		-23.6%	-16.9%	-17.4%	-34.2%	-14.5%	-22.1%
構成比	平成22年	100%	18.4%	15.8%	20.2%	6.9%	61.4%
	平成27年	100%	20.0%	17.1%	17.4%	7.7%	62.6%

### 1-4 専兼業別農家数（販売農家）

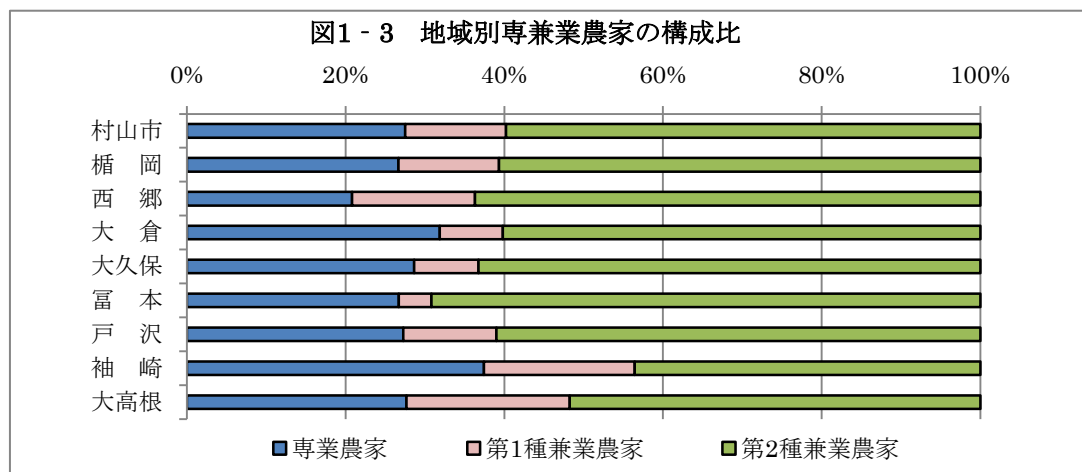
販売農家について専兼業別にみると、前回と比べて専業農家は16戸（△3.7%）減少した。また、第1種兼業農家は97戸（△33.3%）、第2種兼業農家は358戸（△28.2%）それぞれ減少した。

1-5 専兼業別農家数

（単位：戸）

区分	合計	専業農家	男子生産 年齢人口 のいる世帯	兼業農家	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家	
							実数
	平成27年	1,524	419	159	1,105	194	911
増減数		-471	-16	-1	-455	-97	-358
増減率		-23.6%	-3.7%	-0.6%	-29.2%	-33.3%	-28.2%
構成比	平成22年	100%	21.8%	8.0%	78.2%	14.6%	63.6%
	平成27年	100%	27.5%	10.4%	72.5%	12.7%	59.8%

図1-3 地域別専兼業農家の構成比



### 1 - 5 農産物販売金額規模別農家数（販売農家）

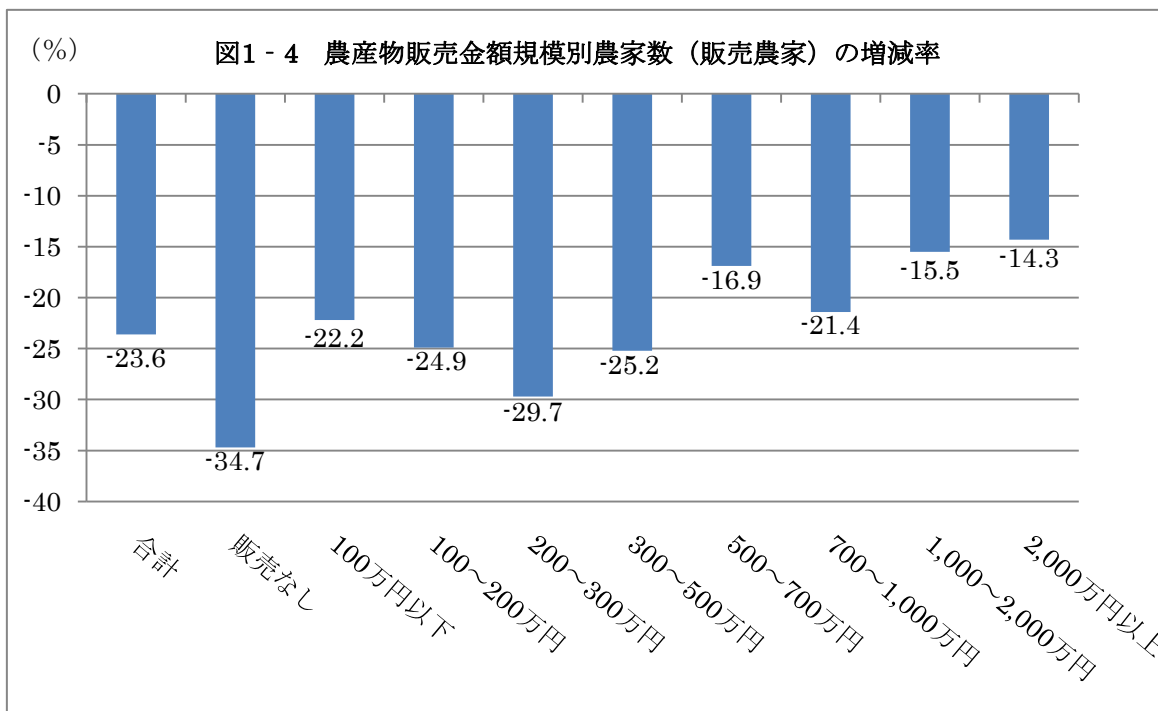
販売農家について農産物販売金額規模別にみると、最も多いのは100万円以下の階層で797戸（構成比52.3%）となっている。

前回に比べて、全ての階層で減少している。

表1-6 農産物販売金額規模別農家数（販売農家）

（単位：戸）

区 分	実数		増減数	増減率	構成比	
	平成22年	平成27年			平成22年	平成27年
合 計	1,995	1,524	-471	-23.6%	100%	100%
販 売 な し	98	64	-34	-34.7%	4.9%	4.2%
100万円以下	1,025	797	-228	-22.2%	51.4%	52.3%
100～200万円	350	263	-87	-24.9%	17.5%	17.3%
200～300万円	165	116	-49	-29.7%	8.3%	7.6%
300～500万円	123	92	-31	-25.2%	6.2%	6.0%
500～700万円	71	59	-12	-16.9%	3.6%	3.9%
700～1,000万円	84	66	-18	-21.4%	4.2%	4.3%
1,000～2,000万円	58	49	-9	-15.5%	2.9%	3.2%
2,000万円以上	21	18	-3	-14.3%	1.1%	1.2%



### 1-6 農産物販売金額第1位部門別農家数（販売農家）

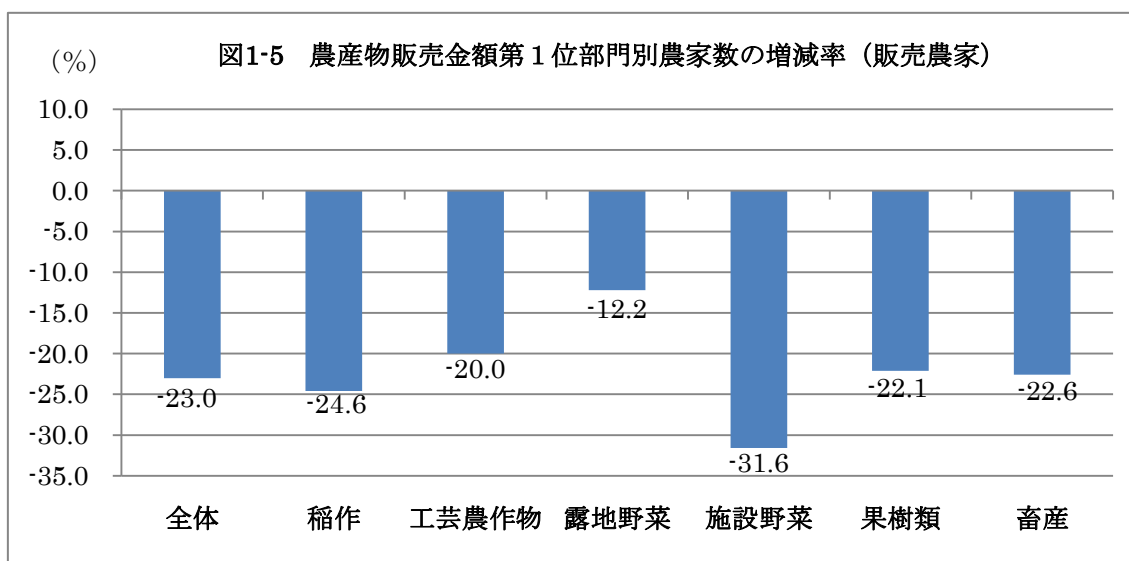
販売農家について農産物販売金額第1位部門別にみると、最も多いのは稲作で876戸（構成比60.0%）となっている。次いで、果樹類（359戸、構成比24.6%）、露地野菜（165戸、構成比11.3%）となっている。

前回に比べ、全て減少している。

表1-7 農産物販売金額第1位部門別農家数（販売農家）

（単位：戸）

区分		販売のあった農家数	稲作	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	畜産
実数	平成22年	1,897	1,162	5	188	19	461	31
	平成27年	1,460	876	4	165	13	359	24
増減数		-437	-286	-1	-23	-6	-102	-7
増減率		-23.0%	-24.6%	-20.0%	-12.2%	-31.6%	-22.1%	-22.6%
構成比	平成22年	100%	61.3%	0.3%	9.9%	1.0%	24.3%	1.6%
	平成27年	100%	60.0%	0.3%	11.3%	0.9%	24.6%	1.6%



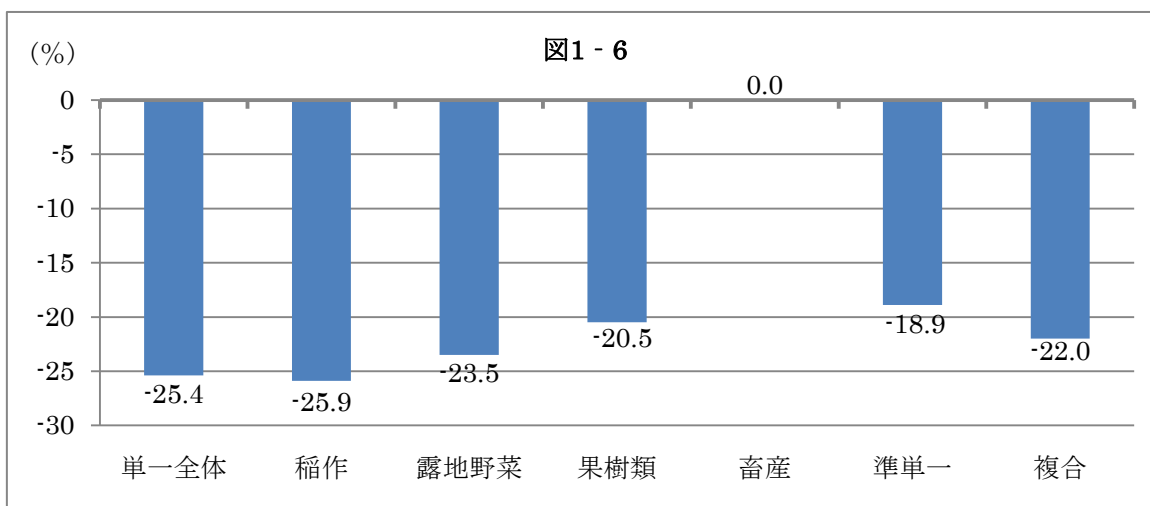
### 1-7 農業経営組織別農家数（販売農家）

販売農家について農業経営組織別にみると、前回と比べて稲作単一経営農家が205戸（△25.9%）減少している。一方、畜産が唯一増減なしである。

表1-8 農業経営組織別農家数の推移

（単位：戸）

区分		販売のあった農家数	単一経営農家数	単一経営農家数				準単一経営農家数	複合経営農家数
				稲作	露地野菜	果樹類	畜産		
実数	平成22年	1,897	1,105	791	68	205	10	583	209
	平成27年	1,460	824	586	52	163	10	473	163
増減数		-437	-281	-205	-16	-42	0	-110	-46
増減率		-23.0%	-25.4%	-25.9%	-23.5%	-20.5%	0.0%	-18.9%	-22.0%
構成比	平成22年	100%	58.2%	41.7%	3.6%	10.8%	0.5%	30.7%	11.0%
	平成27年	100%	56.4%	40.1%	3.6%	11.2%	0.7%	32.4%	11.2%



### 1-8 農業労働力保有状態別農家数（販売農家）

販売農家について農業労働力の保有状態をみると、農業専従者（年間150日以上農業に従事している者）のいる農家数は819戸で、前回と比べて120戸（△12.8%）減少しているが、構成比は53.7%で、前回よりも大きな割合となっている。

また、65歳未満の専従者のいる農家数は380戸で78戸（△17.0%）の減少、60歳未満の専従者のいる農家数は175戸で81戸（△31.6%）の減少となっている。

表1-9 農業労働力保有状態別農家数の推移

（単位：戸）

区分		計	専従者あり	専従者あり		専従者なし
				65歳未満の専従者がいる	60歳未満の専従者がいる	
実数	平成22年	1,995	939	458	256	1,056
	平成27年	1,524	819	380	175	705
増減数		-471	-120	-78	-81	-351
増減率		-23.6%	-12.8%	-17.0%	-31.6%	-33.2%
構成比	平成22年	100%	47.1%	23.0%	12.8%	52.9%
	平成27年	100%	53.7%	24.9%	11.5%	46.3%

## 2 農家人口

### 2-1 農家人口（販売農家）

農家人口は6,176人で、前回に比べ2,454人（△28.4%）減少した。市総人口に占める農家人口の割合をみると、前回の32.2%から25.0%となり、7.2ポイント低下しているが、県の割合と比較すると13.0ポイント高くなっている。

また、農家総人口に占める65歳以上の高齢人口の構成比をみると、前回の34.5%に対し38.7%と4.2ポイント上昇している。県と比較すると3.4ポイント高くなっている。

表2-1 農家人口（販売農家）

（単位：人）

区分	総人口	農家人口	市総人口に占める農家人口の割合	県総人口に占める農家人口の割合	農家人口に占める65歳以上の割合（市）	農家人口に占める65歳以上の割合（県）
平成 12年	29,586	15,647	52.9%	26.2%	29.2%	27.1%
17年	28,192	10,863	38.5%	19.1%	32.6%	30.1%
22年	26,811	8,630	32.2%	15.1%	34.5%	31.9%
27年	24,684	6,176	25.0%	12.0%	38.7%	35.3%

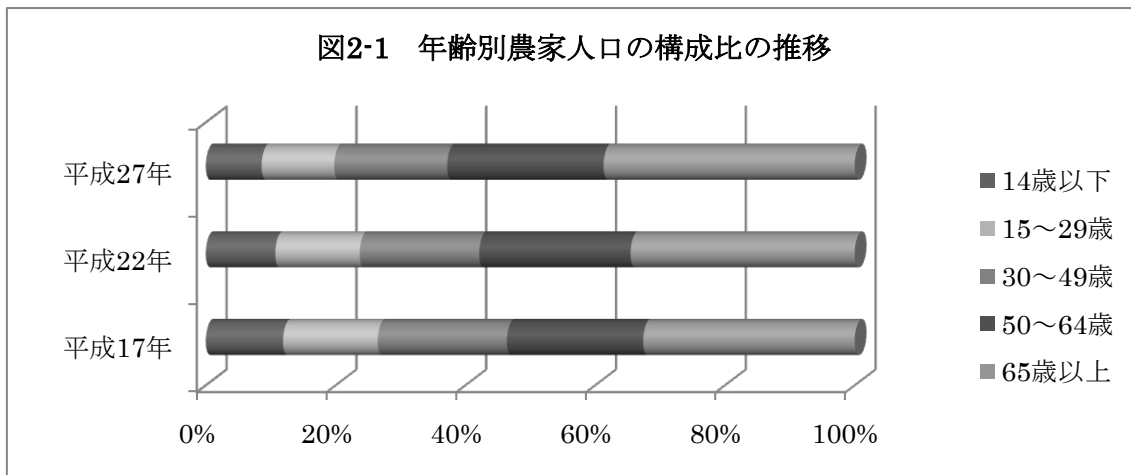
※総人口は各年国勢調査の結果である。

表2-2 年齢階層別農家人口

（単位：人）

区分	実数			増減率		構成比		
	平成17年	平成22年	平成27年	22年/17年	27年/22年	平成17年	平成22年	平成27年
合計	10,863	8,630	6,176	-20.6%	-28.4%	100%	100%	100%
14歳以下	1,288	925	534	-28.2%	-42.3%	11.9%	10.7%	8.6%
15～29歳	1,588	1,126	691	-29.1%	-38.6%	14.6%	13.0%	11.2%
30～49歳	2,166	1,591	1,074	-26.5%	-32.5%	19.9%	18.4%	17.4%
50～64歳	2,283	2,012	1,488	-11.9%	-26.0%	21.0%	23.3%	24.1%
65歳以上	3,538	2,976	2,389	-15.9%	-19.7%	32.6%	34.5%	38.7%

図2-1 年齢別農家人口の構成比の推移





## 2-2 農家世帯員の就業状態（販売農家）

満15歳以上の販売農家世帯員5,642人の就業状態をみると、農業従事者は4,302人で前回と比べ23.4%の減少となっている。このうち、農業就業人口は2,151人で31.0%の減少、基幹的農業従事者は2,151人で13.9%の減少となっている。

表2-3 15歳以上の就業状態別世帯員数の推移（販売農家）

（単位：人）

区分	合計	農業従事者	農業就業人口		農業外従事者数	非就業者数	
			農業就業人口	基幹的農業従事者数			
実数	平成22年	7,705	5,615	3,117	2,498	1,138	952
	平成27年	5,642	4,302	2,151	2,151	657	683
増減数	-2,063	-1,313	-966	-347	-481	-269	
増減率	-26.8%	-23.4%	-31.0%	-13.9%	-42.3%	-28.3%	
構成比	平成22年	100%	72.9%	40.5%	32.4%	14.8%	12.4%
	平成27年	100%	76.2%	38.1%	38.1%	11.6%	12.1%

## 2-3 農業就業人口（販売農家）

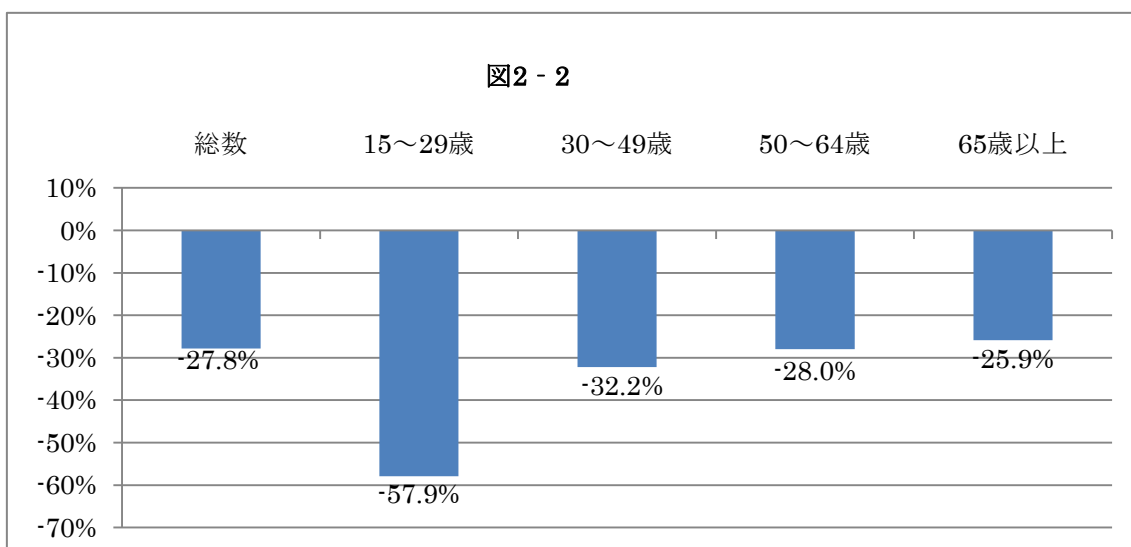
農業就業人口は2,396人で、前回と比べ924人（△27.8%）減少している。

年齢階層別にみると、各階層で減少がみられるが、特に65歳以上は566人（△25.9%）の減少となっている。

表2-4 年齢別農業就業人口（販売農家）

（単位：人）

区分	実数		増減数	増減率	構成比	
	平成22年	平成27年			平成22年	平成27年
合計	3,320	2,396	-924	-27.8%	100%	100%
15～29歳	107	45	-62	-57.9%	3.2%	1.9%
30～49歳	205	139	-66	-32.2%	6.2%	5.8%
50～64歳	820	590	-230	-28.0%	24.7%	24.6%
65歳以上	2,188	1,622	-566	-25.9%	65.9%	67.7%



### 3 経営耕地

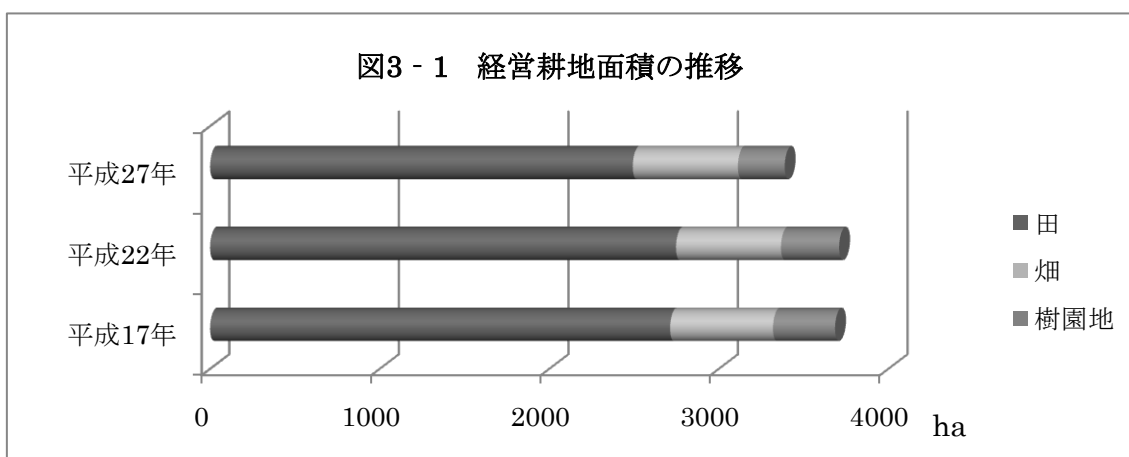
#### 3-1 経営耕地

総農家の経営耕地総面積は 3,389ha であり、前回と比べて 321ha (△8.7%) 減少している。1戸あたりの経営耕地面積は 143.8a で、前回と比べて 24.7a (6.8%) 増加している。

種類別にみると、畑は 1ha (0.2%) 増加している。田は 255ha (△9.3%)、樹園地は 67ha (△19.5%) それぞれ減少している。

表3-1 経営耕地面積の推移 (単位: ha)

区分	実数			増減率		構成比		
	平成17年	平成22年	平成27年	22年/17年	27年/22年	平成17年	平成22年	平成27年
総面積	3,686	3,710	3,389	0.7%	-8.7%	100%	100%	100%
田	2,713	2,748	2,493	1.3%	-9.3%	73.6%	74.1%	73.6%
畑	607	619	620	2.0%	0.2%	16.5%	16.7%	18.3%
樹園地	366	343	276	-6.3%	-19.5%	9.9%	9.2%	8.1%
一戸あたりの経営耕地面積	119.1	134.7	143.8	13.1%	6.8%	-	-	-



#### 3-2 借入耕地

農家の借入耕地は 105,633a であり、前回と比べて 15,898a (△13.1%) 減少した。

また、全経営耕地面積に占める借入耕地の割合は前回の 32.8%から 31.2%となり、1.6ポイント減少した。

表3-2 借入耕地面積の推移 (単位: a)

区分		借入耕地総面積	経営面積に占める借入耕地の割合	田	畑 (樹園地を除く)	樹園地
実数	平成22年	121,531	32.8%	107,063	12,274	2,194
	平成27年	105,633	31.2%	88,897	14,890	1,846
増減数		-15,898	-	-18,166	2,616	-348
増減率		-13.1%	-	-17.0%	21.3%	-15.9%
構成比	平成22年	100%	-	88.1%	10.1%	1.8%
	平成27年	100%	-	84.2%	14.1%	1.7%

### 3-3 貸付耕地及び耕作放棄地

農家の貸付耕地は 29,046a であり前回と比べて 2,063a (△6.6%) 減少した。農家の耕作放棄地(過去1年間以上耕作せず、今後も耕作する考えのない土地)は 26,791a であり、前回と比べて 2,503a (10.3%) 増加した。

種類別にみると、貸付耕地は全て減少している。耕作放棄地は、畑・樹園地が減少。田は 3,115a (50.4%) 増加した。

表3-3 貸付耕地及び耕作放棄地の推移 (単位:a)

区分	貸付耕地			耕作放棄地		
	実数		増減率	実数		増減率
	平成22年	平成27年		平成22年	平成27年	
総面積	31,109	29,046	-6.6%	24,288	26,791	10.3%
田	25,361	24,785	-2.3%	6,184	9,299	50.4%
畑	5,132	3,846	-25.1%	15,375	15,360	-0.1%
樹園地	616	415	-32.6%	2,729	2,132	-21.9%

## 4 農作物（販売農家）

### 4-1 販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）農家数

販売目的で作付けした作物を類別にみると、水稻が 1,291 戸、雑穀が 144 戸、野菜類が 465 戸、果樹類が 741 戸となっている。

表4-1 販売目的で作付けした作物の類別作付農家数 (単位: 農家数: 戸、面積: a)

区分	水稻	雑穀	いも類	まめ類	野菜類	花き類・ 花木	果樹類
農家数	1,291	144	37	66	465	33	741
作付面積	172,206	12,778	153	3,156	22,639	1,268	24,858

### 4-2 販売目的で作付け（栽培）した作物の作物別作付（栽培）農家数

販売目的で作付けした作物を作物別にみると、最も作付農家が多いのはすいかで、263 戸の農家が作付けしている。

表4-2 販売目的で作付けした作物の作物別作付農家数 (単位: 戸)

区分	トマト	きゅうり	なす	はくさい	キャベツ	ほうれんそう	ねぎ
農家数	35	57	70	105	32	16	42

区分	たまねぎ	だいこん	さといも	大豆	ピーマン	すいか	メロン
農家数	10	105	82	56	13	263	12

### 4-3 果樹栽培農家

販売目的で果樹を作付けしている農家は 741 戸（販売総農家の 48.6%）であった。

作物別にみると、最も作付農家が多いのはさくらんぼで、708 戸の農家が作付けしている。

表4-3 果樹栽培農家数 (単位: 戸)

区分	総数	りんご	ぶどう	日本なし	西洋なし	もも	さくらんぼ	かき	すもも
農家数	741	111	6	15	50	56	708	10	39

## 5 施設園芸

### 5-1 施設園芸農家数と総面積

施設のある農家は、103戸で前回に比べ12戸（△10.4%）、総面積は1,438aで355a（△19.8%）の減少となった。

表5-1 施設園芸農家数及び面積の推移 (単位: 農家数: 戸、総面積: a)

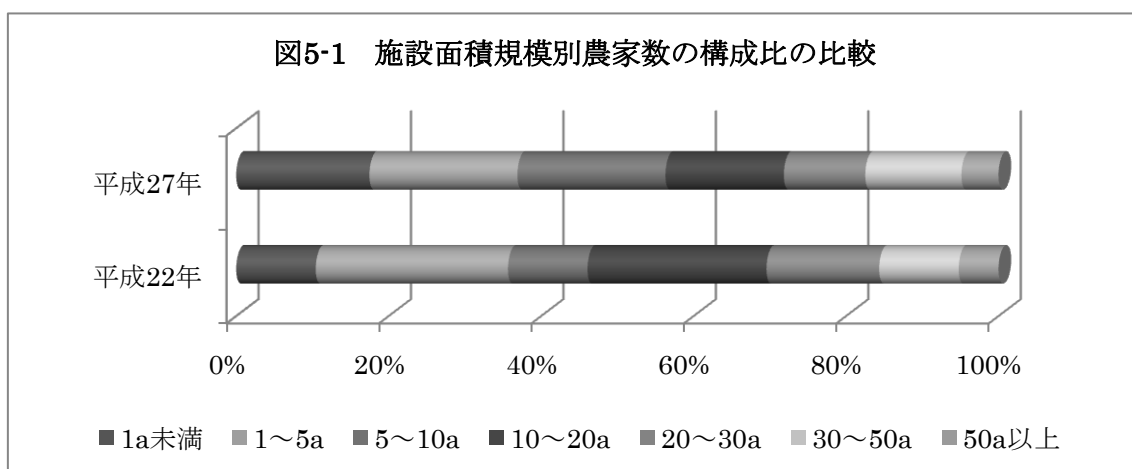
区分	実数			増減率	
	平成17年	平成22年	平成27年	22年/17年	27年/22年
農家数	113	115	103	1.8%	-10.4%
総面積	1,502	1,793	1,438	19.4%	-19.8%

### 5-2 施設面積規模別施設園芸農家数

施設面積規模でみると、10～20aの階層で最も多く減少しており、5～10aの階層で最も多く増加している。また、5～10a以上の規模の構成比も、前回の10.4%から19.4%に伸びている。

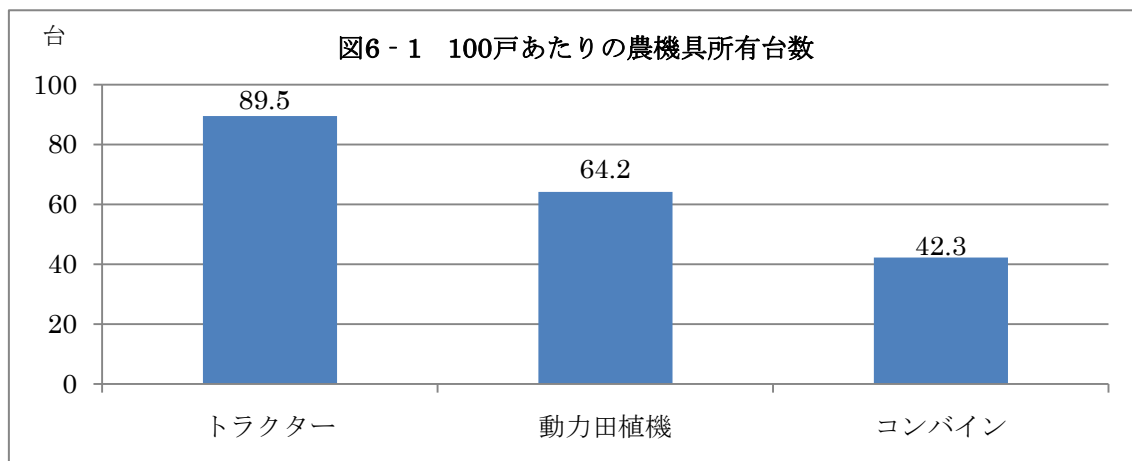
表5-2 施設面積規模別施設園芸農家数の推移 (単位: 戸)

区分		合計	1a未満	1～5a	5～10a	10～20a	20～30a	30～50a	50a以上
実数	平成22年	115	12	29	12	27	17	12	6
	平成27年	103	18	20	20	16	11	13	5
増減数		-12	6	-9	8	-11	-6	1	-1
増減率		-10.4%	50.0%	-31.0%	66.7%	-40.7%	-35.3%	8.3%	-16.7%
構成比	平成22年	100%	10.4%	25.2%	10.4%	23.5%	14.8%	10.4%	5.2%
	平成27年	100%	17.5%	19.4%	19.4%	15.5%	10.7%	12.6%	4.9%



## 6 農機具（販売農家）

100戸あたりの所有台数で見ると、最も多いのは農用トラクター（89.5台）で、次が動力田植機（64.2台）、コンバイン（42.3台）となっている。



## 7 農業雇用・請負作業等（販売農家）

### 7-1 水稲作の請け負わせ

水稲作の作業を請け負わせた販売農家を作業別にみると、全作業を請け負わせた農家は24戸であった。部分作業では、防除を請け負わせた農家（1,299戸）が最も多かった。

表7-1 水稲作を請け負わせた農家数 （単位：戸）

区分	水稲作を 請け負わせた 農家総数	全作業	部分 作業						
				育苗	耕起・ 代かき	田植	防除	稲刈り・ 脱穀	乾燥・ 調整
農家数	1,325	24	1,309	378	203	252	1,299	564	640

\*各作業は複数計上している

### 7-2 水稲作の請け負い

水稲作の作業を請け負った販売農家を作業別にみると、全作業を請け負った農家は10戸であった。部分作業では、稲刈り・脱穀を請け負った農家（141戸）が最も多かった。

表7-2 水稲作を請け負った農家数 （単位：農家数：戸、面積：a）

区分	水稲作を 請け負った 農家総数	全作業	部分 作業						
				育苗	耕起・ 代かき	田植	防除	稲刈り・ 脱穀	乾燥・ 調整
農家数	181	10	180	68	100	112	3	141	119
請け負った 面積	55,647	1,410	…	6,430	6,538	8,149	120	18,957	14,043

\*各作業は複数計上している

## 8 認定農業者のいる農家数（販売農家）

認定農業者がいる販売農家は176戸で、販売農家全体の11.5%を占めている。

表8-1 認定農業者のいる農業経営体 （単位：経営体数：戸、面積：a）

区分	農業経営体		販売農家	農家以外の 農業経営体	農業サービス 経営体
	家族経営				
経営体数	183	176	176	7	-
経営耕地 面積	131,724	126,049	126,049	5,675	…

# 林家調査

## 1 林家数

平成 27 年 2 月 1 日現在の本市の林家数は 18 戸で、前回と比べると、18 戸（△50.0%）減少した。

## 2 保有山林面積

保有山林面積は 131ha で、前回と比べると、173ha（△56.9%）減少した。

表 1 林家数と保有山林面積  
（単位：林家数：戸、面積：ha）

区分		林家計	
		林家数	面積
実数	平成22年	36	304
	平成27年	18	131
増減数		-18	-173
増減率		-50.0%	-56.9%

## 3 保有山林面積規模別林家数

保有山林面積規模別にみると、全ての階層で減少しており、30ha 以上の林家は 0 となっている。

表 1 林家数と保有山林面積  
（単位：林家数：戸、面積：ha）

区分		計		1～5ha		5～10ha		10～20ha	
		林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積
実数	平成22年	36	304	14	45	13	84	4	50
	平成27年	18	131	8	31	6	41	3	40
増減数		-18	-173	-6	-14	-7	-43	-1	-10
増減率		-50.0%	-56.9%	-42.9%	-31.1%	-53.8%	-51.2%	-25.0%	-20.0%

区分		20～30ha		30～50ha		50ha以上	
		林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積
実数	平成22年	3	60	2	64	-	-
	平成27年	1	20	-	-	-	-
増減数		-2	-40	-2	-64	-	-
増減率		-66.7%	-66.7%	-100.0%	-100.0%	-	-